

表1 ひもの切断にかかった距離 (cm)

	包丁	カッターナイフ	鉄板
たこ糸	70.96	17.7	500
麻ひも	55.63	14.04	500

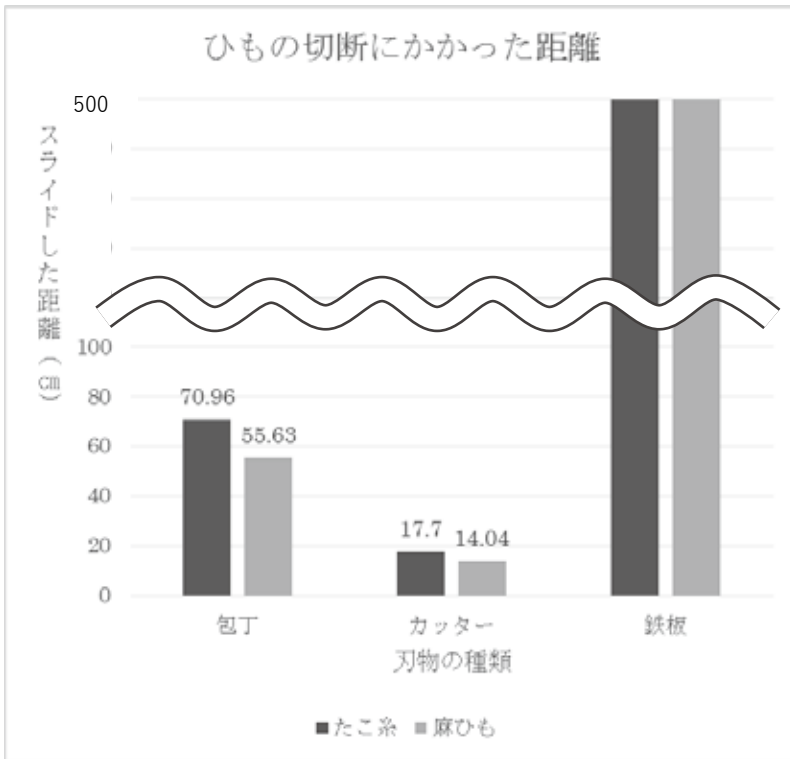


図3 表1をグラフ化したもの

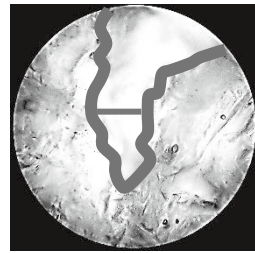


図4 包丁を使用

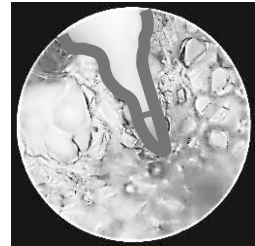


図5 カッターナイフを使用

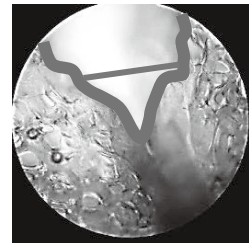


図6 鉄板を使用

表1, 図3より, 3つの刃物を切れ味の良い順に並べると, カッターナイフ, 包丁, 鉄板という結果になった。鉄板については, 500cmを過ぎた時点で切断される様子が見られなかったため切れ味がほぼ無いと考えた。

実験(2)では, それぞれの刃物で玉ねぎに切れ込みを入れ, その断面は図4, 図5, 図6のようになった。実験1で計測した結果と同じく, 切れ味の良い順にカッターナイフ, 包丁, 鉄板の順に押し切りで潰れた幅が狭くなった。図6の断面は尖っているように見えるが, 押し切りをした時に裂けたものであって, 鉄板の刃が尖っているわけではない。

4 結論と今後の課題

実験(1)から, 料理用の刃物である包丁よりも工作用の刃物であるカッターナイフのほうが切れ味が良く, 刃物として使用されない鉄板は, 被切断物を切断できないことが分かった。

実験(2)で, 切れ込みを観察し, 実験(1)と比較すると, 刃の厚さが薄いほど刃物の切れ味が良いことが分かった。

私たちが普段被切断物を切断するシチュエーションは多くあり, 圧力のかけ方や刃の種類, 切断方法など様々なことが関係してくる。なので, 今後の課題として, 条件を一つに限定して測定し, 他の条件のものと比較することでより正確な結果へと近づくのではないかと考える。

【文献】

- 岡村多か子: 包丁の切れ味に関する研究 一包丁による被切削試料の変形を中心として一, 調理科学 Vol. 8 No. 2 (1975)

人間関係を良好にする秘訣

蛭田 海秀 江本 ひな 難波 沙也香 藤井 彩音 山本 佳乃

要旨

私たちの班では研究活動中にテーマ設定をめぐって人間関係が悪化した。事実、人間関係でストレスを感じる人は多い。悪化した人間関係を改善するためアンケート調査を行ったところ、人間関係の悪化につながると考えていた悪口（軽口をたたく）を言うことは逆に人間関係の改善に効果的で悪化にはつながりにくいと分かった。また、泣く、無視をするということは人間関係の悪化につながりやすいと分かった。

キーワード：人間関係，悪口，良好，悪化，マイナスな感情，改善

1 序論

本校では、毎年AFP研究として1年次生がグループで課題研究に取り組んでいる。ただ我々のグループでは研究のテーマについて話し合いをしていた時に意見の対立がしばしばあり、それをきっかけに口論になった。関係がぎくしゃくし、お互いの人間関係が悪化したと感じられた。そこで、悪化した人間関係を良好化させるため本研究を始めた。

本研究では、まず人間関係の悪化を「ある一定の人間関係があった者どうしが、何らかのきっかけで、うまくコミュニケーションがとれなくなった状態。」と定義した。そのうえで天城高校の1年次生にアンケート調査を行い、人間関係が悪化したとき、とった行動で最も人間関係が改善したものを調査した。

2 アンケート調査

天城高校の1年次生235人にアンケート調査を行った。

まず今回の調査では、マイナスな感情を「退屈、気まぐずい、嫌悪、怒り」とし、「人間関係が悪化したとき」という状況を「友人との会話中に怒りを抱いたとき」に限定した。「はい」と答えた人にはその時どんな対処（悪口を言った、話し合いをしたなど）をしたか、その後その人との関係はどうなったか

- | | |
|---|--|
| <p>①友人との会話中、相手に対して怒りを抱いたことがありますか？</p> <p>はい ・ いいえ</p> <p>「はい」と答えた人へ</p> | <p>②どんな対処をしましたか？（最もよく行ったこと）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・悪口を言った（相手 or 第三者） ・話し合いをした ・睡眠をとった ・相談した（先生 or 友人 or 家族 or スクールカウンセラー） ・趣味に没頭した ・泣いた ・運動した ・食事をとった ・その他（ ） |
| <p>③相手との人間関係はどうなりましたか？</p> <p>改善した ・ 変わらなかった ・ 悪化した</p> | <p>④理想としてはどのような対処をしたかったですか？（3つまで）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・悪口を言う（相手 or 第三者） ・話し合いをする ・睡眠をとる ・相談する（先生 or 友人 or 家族 or スクールカウンセラー） ・趣味に没頭する ・泣く ・運動する ・食事をとる ・その他（ ） |

図1 実施したアンケートの質問項目

（改善した，変わらなかった，悪化した）を調査した（図1）。ただし今回はアンケートの④で調査した理想の対応についてのデータは使用しなかった。

2組7班

3 結果

アンケートを実施した結果下のようなグラフになった。

このグラフは行った対策(②)によって人間関係がどう変化したのか(③)を表している。「悪口を言う」が最も効果があることが分かった。

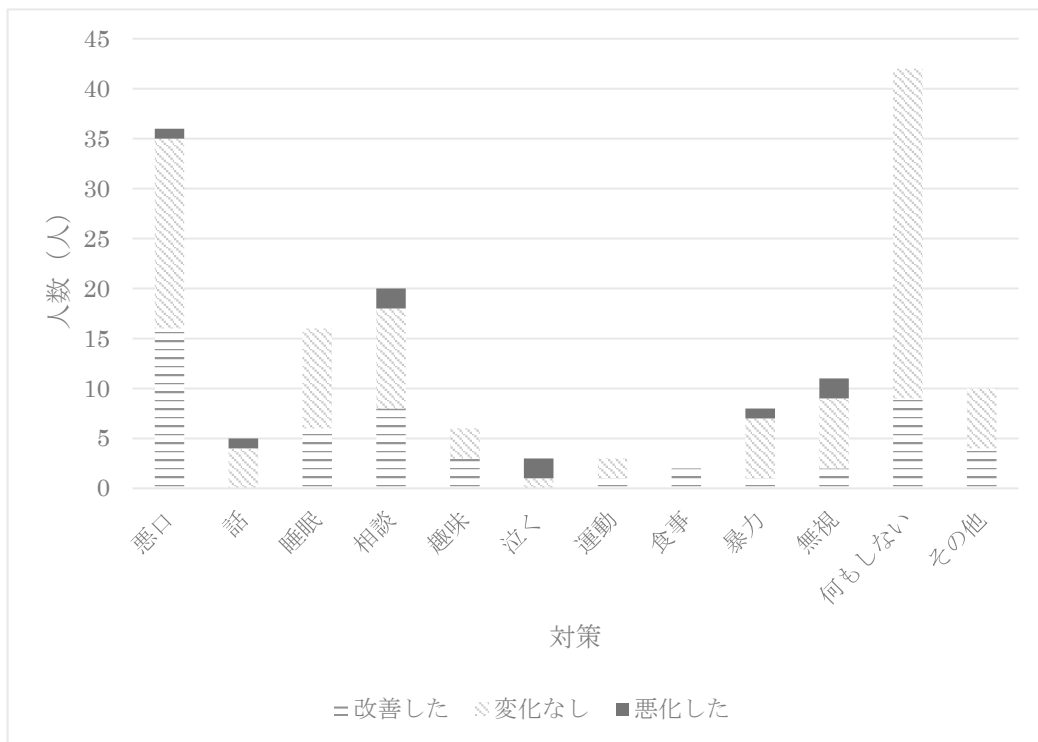


図2 アンケート調査の結果

4 結論と今後の課題

(1) 結論

私達の班では悪口を言うという対策では関係が悪化すると考えていたが、アンケートの結果、悪口によって関係が悪化したケースは少なかった。むしろ改善したケースは最も多かった。これは、「軽口をたたく」程度の悪口が人間関係の改善に貢献したものと考えられる。また、泣く・無視などの相手にマイナスな感情を表すことで悪化したケースも多かった。

(2) 今後の課題

今回のアンケートでは、悪口を言う・相談をするという対策において誰に対してか、またどの程度の発言なのかを調査することができなかったため、悪口のアンケートの形式を直し再調査したい。

【文献】

- Alan S. Cowen and Dacher Keltner “Self-report captures 27 distinct categories of emotion bridged by continuous gradients” (<https://www.pnas.org/content/114/38/E7900.short>), 2019年12月18日アクセス
- 原田純子・井出真理「本学学生の健康および生活に関する質問紙調査」(<http://ir-lib.wilmina.ac.jp/dspace/bitstream/10775/88/1/03.pdf>), 2019年12月18日アクセス

Jリーグの試合でどのようなプレイが勝ちに貢献するのか

岡村 大誠 丸山 竜輝 高橋 美羽 横山 美咲

要旨

本研究では、Jリーグにおける勝利に影響を与えるプレイを明らかにするために、Jリーグサマリーを用いて、勝ち点と様々なプレイとの相関を求めた。その結果、勝利により大きく影響を与えるものから、ゴール数、枠内シュート数、シュート数、ペナルティエリア進入回数、コーナーキック数となった。

キーワード：サッカー， Jリーグ， 相関係数

1 序論

先行研究において、シュートパターンの種類、増減は勝敗に影響を与えないという結果を見つけた。また、その考察として、比較対象を増やせば、より正確なデータや、新たな結果を導ける可能性があると表記してあった。そこで本研究では、相関係数を用いて、勝ち点と他のプレイとの相関を求めることで、勝利に影響を与えるプレイを明らかにすることを目的とした。

2 研究方法

① J1, J2, J3の各チームのデータ調査

変数：ゴール(得点)，シュート，枠内シュート，パス，クロス，直接フリーキック，間接フリーキック，コーナーキック，ドリブル，タックル，クリア，インターセプト，オフサイド，30mライン進入回数，ペナルティエリア進入回数，ボール支配率
△これらは1試合の平均とする

② ①で求めた項目の数値ごとに勝ち点と比較する

- ・ 相関係数を利用する

→ 正の相関が最も強いプレイが勝ちに貢献する

表 相関の強弱の基準

0.7～1.0	強い正の相関あり
0.4～0.7	正の相関あり
0.2～0.4	弱い正の相関あり
-0.2～0.2	関係なし
-0.4～-0.2	弱い負の相関あり
-0.7～-0.4	負の相関あり
-1.0～-0.7	強い負の相関あり

2組8班

3 結果

次の図1は5つの変数(ゴール数, シュート数, 枠内シュート数, コーナーキック数, ペナルティエリア進入回数)の散布図とその相関係数□内を表したものである。

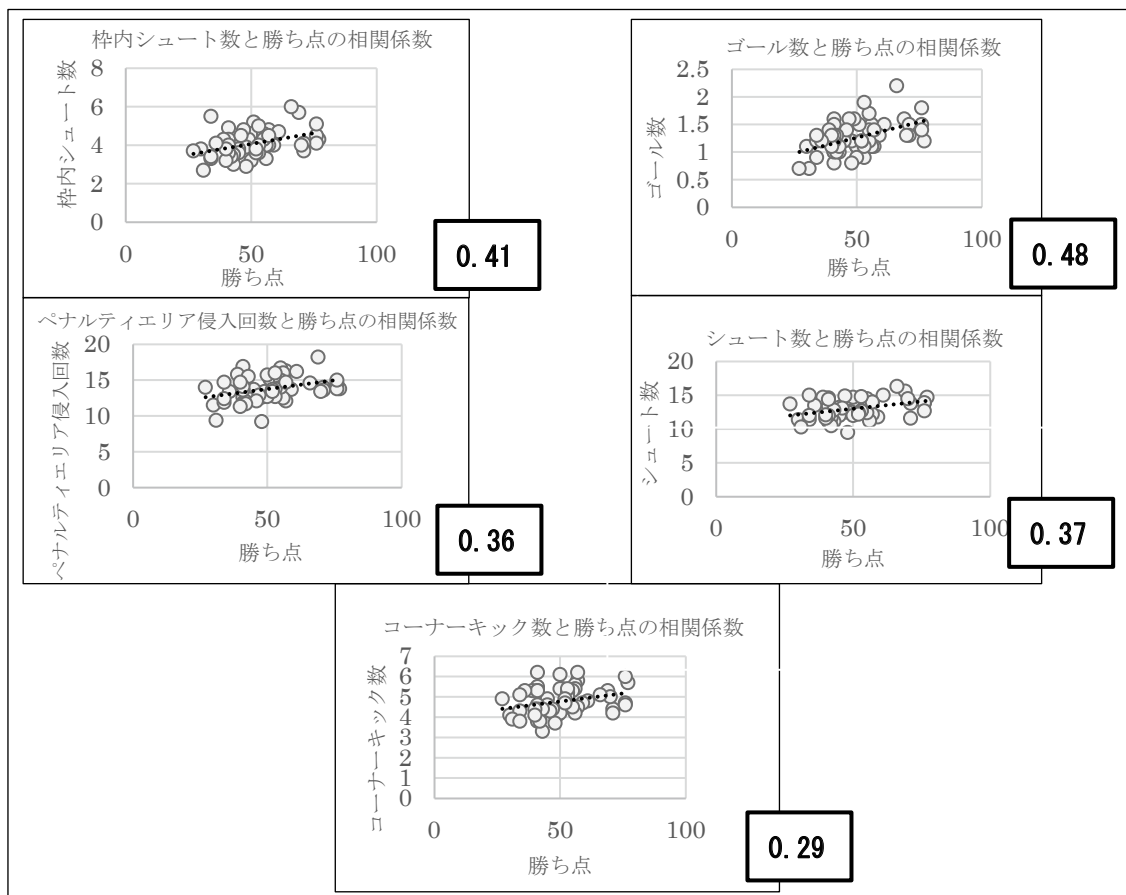


図1 勝ち点と相関があったプレイのグラフ

勝利により大きく影響を与えるものから, ゴール数, 枠内シュート数, シュート数, ペナルティエリア進入回数, コーナーキック数という結果が得られた。また, その他のプレイは勝利には影響を与えないという結果も得られた。

4 考察と今後の課題

本研究の結果より, 勝利に影響を与えるプレイを明らかにすることができた。また, 勝利に影響を与えるプレイは, ゴール付近で行われるプレイなのではないかと考えられた。今後の課題として, 過年度のデータも加え, 結果が変化するのか調査していこうと思う。

【文献】

- ・大井 大器, サッカー2011FIFA女子ワールドカップのシュート決定率についての研究 (<http://hdl.handle.net/10693/842>) びわこ成蹊スポーツ大学 (2012), 2019年10月2日アクセス
- ・リーグサマリー (https://www.football-lab.jp/summary/team_ranking/j1/?year=2019), 2019年9月1日アクセス

ネット炎上と言葉遣い

大西 春輝 秋山 諒太

要旨

昨今、SNS(ソーシャル・ネットワーキング・サービス)での炎上を多く見かけるようになり、また芸能人だけでなく、一般人も炎上の対象となることが増えてきているように思う。本研究では、SNSでの炎上のうち、文章での炎上に注目して研究を行った。その結果、炎上を避けるために気を付けるべきこととして、一方的に価値観を押し付けるような事態は避けるべきであることが分かった。

キーワード：ネット炎上、炎上事例、テキストマイニング

1 序論

炎上の原因となった文章やテキストをインターネット上から無差別に収集し、そのうち、殺害予告、爆破予告など、犯罪行為となり得るものを除外した30件について検証した。

2 研究方法

炎上の原因となった文章やテキストの原文をテキストマイニングに掛け、分類されたデータを基にグラフを作成した。また、テキストの内容でも分類をし、同じようにグラフに表した。

【テキストマイニングとは】

文章などを対象にしたデータマイニングの一種で、文で構成された文字列を単語や文節に分け、出現頻度や傾向、単語の関係性などをAIが解析し、有用なデータを作成することができるソフトウェアである。

3 研究結果

まず、収集データ30件を炎上系統ごとに種類分けし、表1に表した。また、テキストマイニングによって得られた文章解析の結果を図1~3に表した。

表1 炎上系統の分類

系統	事例数	系統	事例数
災害	4	謝罪	3
政治	2	人権	3
スポーツ	2	誹謗中傷	7
対人不満	4	その他	5

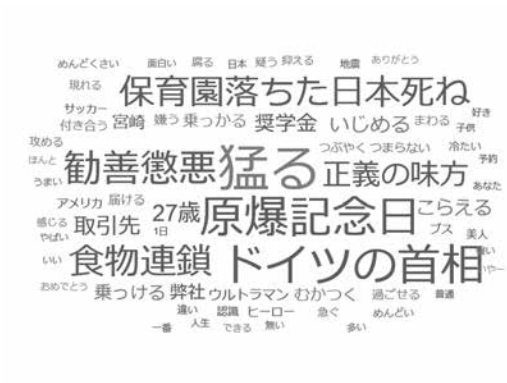


図1 単語分布

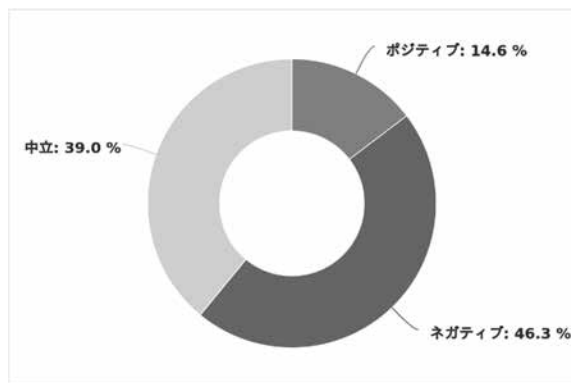


図2 ポジティブ・ネガティブ分布

4 結論と今後の課題

(1) 結論

今回の調査の結果、ネット炎上には、人間心理の歪みが大きく関与していることが判明した。災害時に不謹慎発言で炎上した事例などはその一例である。また図1に見られる「勧善懲悪」「正義の味方」など、価値観の違いや一方的な持論によって大きな炎上をもたらされることも分かった。

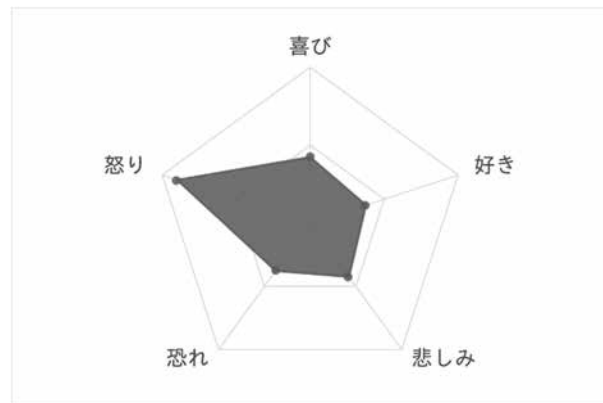


図3 感情分布

(2) 今後の課題

本研究で判明した「人間心理と炎上の関係」についてのさらなる検証が今後の課題である。インターネットで常に付きまとう炎上のリスクに対し、心理学の観点から防止策を提案できれば、今後のインターネット上の環境についての、さらなる期待がもてる。

また、今回の研究で常に課題となったのが、事例の少なさである。次回の研究では、より多くの事例を効率よく集められるよう克服しておきたい事象である。

【文献】

- ・テキストマイニング by ユーザーローカル (<https://textmining.userlocal.jp/>), 2019年11月12日アクセス

糸電話の糸の状態による音の大きさの違い

検校 光咲 齋藤 千晴 妹尾 菜央 中務 良々

要旨

糸電話の音の伝わりかたについて、糸の状態が及ぼす影響（本研究では特に音の大きさ）について調べた。糸の状態として「無加工」「含水」「含油」「傷有り」の4パターンを考えた。結果として、傷有りの状態が最もよく音を伝えていたことが示唆された。

キーワード：糸電話，糸，デシベル，音

1 序論

「常総市の堤防決壊，糸電話で励ましあった姉妹の話」¹⁾（茨城県の常総市で大きな災害が起き、連絡手段が途切れた時に、食料を送りあったり励ましあったりして乗り越えた）を読んで、災害時に糸電話を活用できると知った。そこで糸がどのような状態にあるときに最も大きな音で伝わるのか確かめてみることにした。本研究での糸電話とは100円の紙コップと毛糸で作ったものとする。

2 実験装置について

図1は実験に使用した装置の全体の模式図である。机の上に毛糸の長さが1mの糸電話をつるした支柱を置いた。音漏れ防止のために上の紙コップの周りに段ボールで壁を作った。(図2)

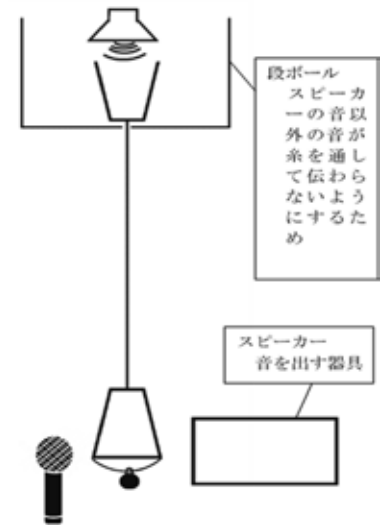


図1 装置の全体図

3 研究方法

糸の状態を図2のように「無加工」「含水」「含油」「傷有り」の4種類にしてそれぞれ次のような実験を行った。「傷有り」とは、はさみで30回こすった糸の状態をいう。図3、図4のようにコップの中と外で測定し、この差が最も大きいものを効果的なものとした。

① 無加工

- ア 図3のように、下の紙コップの外側にマイクを設置する。
- イ スピーカーから700Hzの音を出す。マイクで拾った音をWaveSpectraで50回記録する。
- ウ 図4のように下の紙コップの内側にマイクを設置する。
- エ イと同じ手順で実験する。

② 含水

- ア 糸を水滴が垂れない程度に濡らす。
- イ～エ ①と同じ手順で実験する。

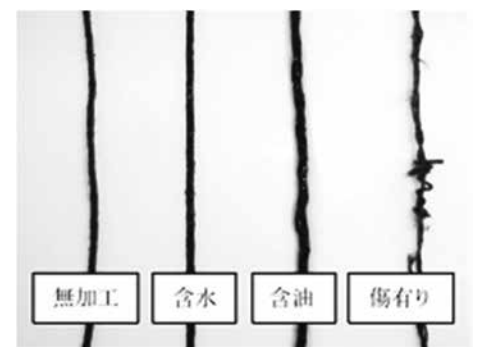


図2 糸4種類



図3 マイク(紙コップの外)

3組1班

③ 含油

ア 糸をサラダ油が入った容器に3分間浸す。

イ～エ 油が垂れない程度になったら、①と同じ手順で実験する。

④ 傷有り

ア 糸をはさみで30回こする。

イ～エ ①と同じ手順で実験する。



図4 マイク(紙コップの中)

①～④の実験の結果をグラフにまとめた。

4 実験とその結果

「2 実験装置について」で述べた方法により、状況を変えた時の音の大きさの違いを調べた。図5と図6のグラフは実験結果を表している。

5 結論と今後の課題

(1) 結論

図5から、傷有りの状態が最もよく音を伝えていたことが分かった。また、含油の状態が最も音を伝えていなかったことが分かった。

(2) 考察

傷有りの状態は、傷をつけることで糸がより細くなり、音が振動させるその断面積が小さくなった。そのため音を振動させる媒質が使用するエネルギーの消費量が小さくなったため、最もよく伝えたと考えられる。また、含油の状態は、油は水より粘度が高いため、媒介するときのエネルギーの消費量が大きくなったからだと考えられる。

(3) 今後の課題

記録を採る回数を増やし、結果を正確にしたいと考える。

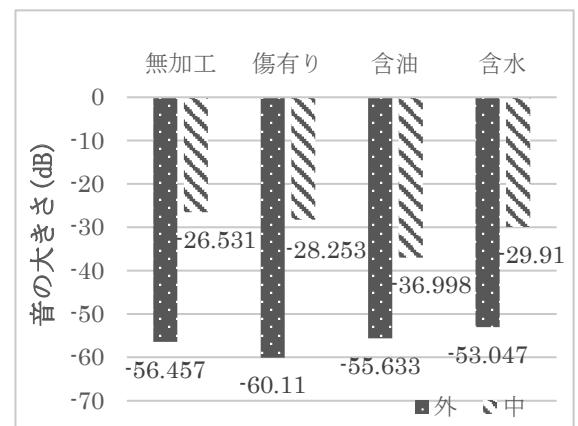


図5 糸の状態による音の大きさ

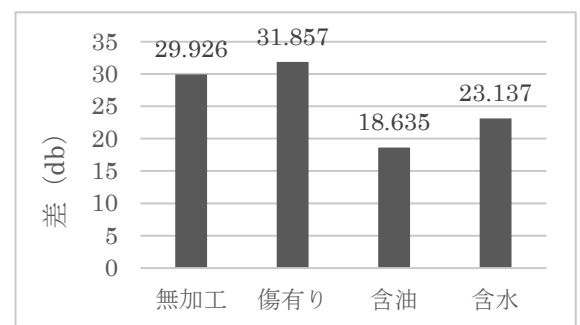


図6 中側と外側の差

【文献】

- ・常総市の堤防決壊。糸電話で励まし合った姉妹。直接、顔を見ることの効能、力。(https://kamenochie.com/post-3331/) 2019年10月10日アクセス
- ・高速リアルタイム スペクトラムアナライザー Wave Spectra (http://efu.jp.net/soft/ws/ws.html), 2020年2月5日アクセス

変化球とマグナス効果について

溝手 伯斗 奥村 華帆 三宅 康心 田嶋 藍衣 石川 晃 岡 日和莉

要旨

ボールを回転させて投げると、まっすぐに飛ばず、軌道が曲がる現象がある。この現象（マグナス効果）について実験を行ったところ、回転数が大きいほど曲がる程度も大きい傾向があることを確認することができた。

キーワード：マグナス効果, 巻き数, 距離

1 序論

野球やサッカーには「変化球」と呼ばれる回転しているボールの軌道が変化する現象がある。その現象であるマグナス効果とは、進んでいるボールが回転するとボールの進行方向と直角方向に力を受けて軌道が変化する現象である。空気の流れの速度（ボールのスピードなど）を V 、空気の密度を ρ 、回転によって生じる循環※を k とすれば曲げる力（揚力： L ）は、

$$L = \rho V k \quad \text{となる。} (\text{※「循環とは」速度をボールの球面に沿って線積分したもの})$$

2 実験装置について

- 1 プラスチックコップを2つ向かい合わせにはりつけて輪ゴムをつけ、実験器具(図1)を作成した。
- 2 4.4mの高さから輪ゴムを用いて回転させ、紙コップを落とした。
- 3 撮影した映像をスローにして、コマ送りし、観察した。
- 4 ビデオを用いて落下させたところの真下の地点と実際に落下した地点との水平方向のずれ(変位)を測定した。



図1

3 実験とその結果

図1が2回巻き、図2が3回巻きにして落下させたときの結果をグラフにしたものである。

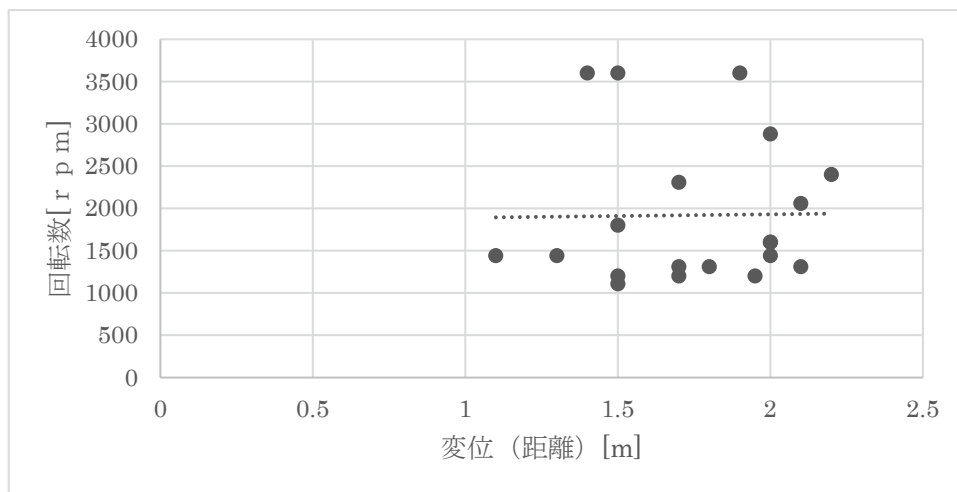


図1 (2回巻き)

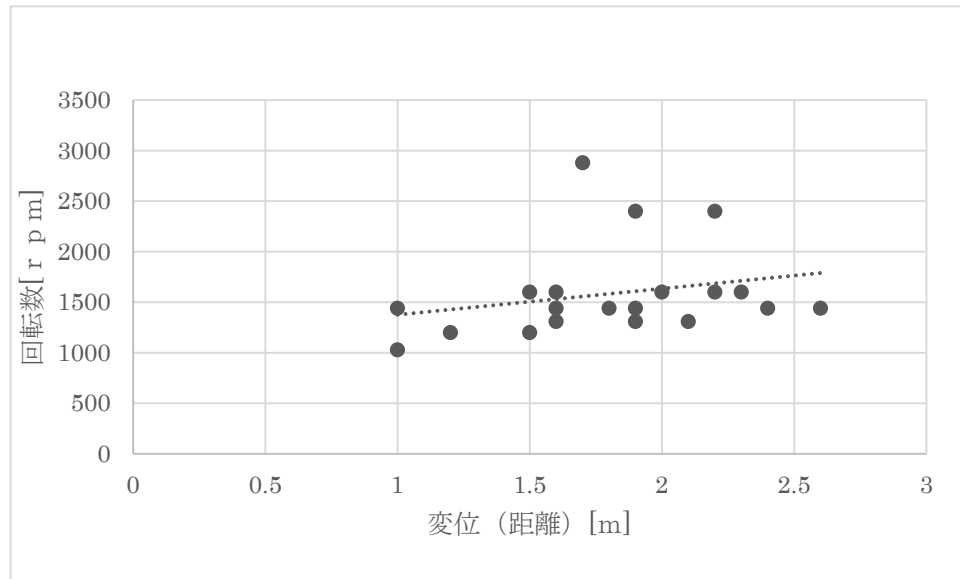


図2 (3回巻き)

これらの二つのグラフは回転数と距離の関係を示したものである。すべての実験の落下させた真下の地点からのずれを変位として、変位が1mを超えていることと、特に3回巻きでは距離が伸びるにつれて回転数も増える傾向があることが分かった。また、風の影響や毎回同量の力でできなかつたため正確なデータが取れなかつたと考えられる。

4 今後の課題

風の影響を考慮して屋外で実験するのではなく、室内で実験する方がより正確な値がとれたと考える。また、より正確な値にするため、条件をすべて同じにするために人間が投げるとばらつきが出るので毎回同じ落とし方ができる装置を作る必要がある。

【文献】

- ・マグナス効果公式
つくばサイエンス・アカデミー (https://www.science-academy.jp/showcase/09/pdf/HP-001_showcase2010.pdf#search=%27%E3%83%9E%E3%82%B0%E3%83%8C%E3%82%B9%E5%8A%B9%E6%9E%9C%E5%85%AC%E5%BC%8F%27), 2019年12月18日アクセス
- ・マグナス効果とは
コトバンク (<https://kotobank.jp/word/%E3%83%9E%E3%82%B0%E3%83%8C%E3%82%B9%E5%8A%B9%E6%9E%9C-135844>)
<https://nlab.itmedia.co.jp/nl/articles/1507/22/news110.html>), 2019年12月18日アクセス

圧電素子を使った発電

北村 慎悟 高瀬 晃太 玉光 陸人 平佐 鴻成
山下 佳吾 大西 紗英 松下 明央依

要旨

発電の方法は色々ある。例えば、火力、水力、風力、原子力などだ。ネットで発電について調べていると先に挙げた例のほかに床発電の記事を見つけた。そこで、圧電素子を使った床発電が面白いと感じ、研究をしようと思った。実験では、文献より圧電素子の上部電極部分に乗せる物体は固いものが適している事が分かっているので、画鋲を用いた。圧電素子のつなぎ方を直列と並列にして発生する電圧を調べた。その結果直列の方がより大きな電圧を発生させることが確認できた。

キーワード：圧電素子，直列，並列

1 序論

通常の床発電に倣って板に圧電素子を張り付けた。それを重ねたらより大きな圧力が圧電素子に加わるので発生する電圧が大きくなると考え、実験を行った。

2 実験装置について

木材を縦 20cm 横 20cm に切った物に一边 6.5cm の正方形に圧電素子を 4 つ敷き詰めた，4 個の圧電素子を張り付けたもの（図 1）を 2 つ用意した。それを重ねて，オシロスコープ（図 2）と繋いだ。圧電素子の上部電極部分には圧力を大きくするため画鋲を付けた。それを重ねて直列と並列につなぎ，オシロスコープともつないだ。（図 3）

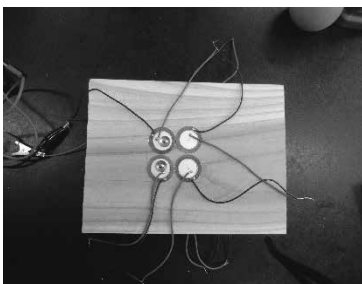


図 1 圧電素子（4つ）



図 2 オシロスコープ

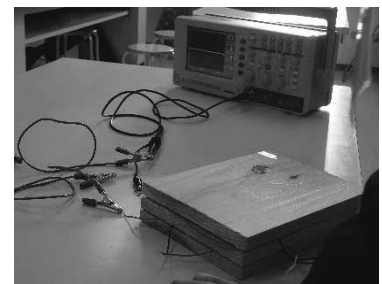


図 3 板ではさんだ状態

3 実験と結果

実験手順

- ① 図 1 の板を 2 枚重ねた（図 3）。
- ② 4 cm 上から板を踏んで，その時の電圧を測定した。
- ③ 20cm 上からボールを落として，その時の電圧を測定した。
- ④ 直列つなぎと並列つなぎで②，③の操作をそれぞれ 5 回行い平均値を求めた。

【結果】

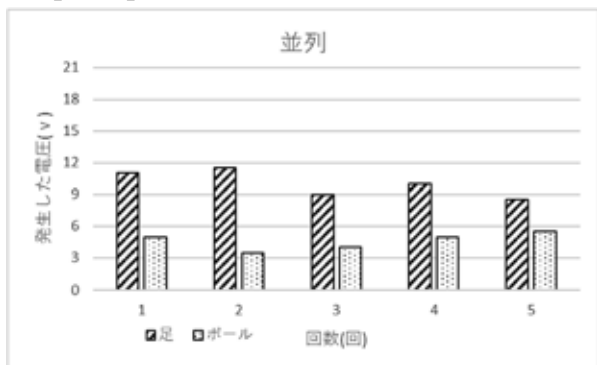


図4 並列

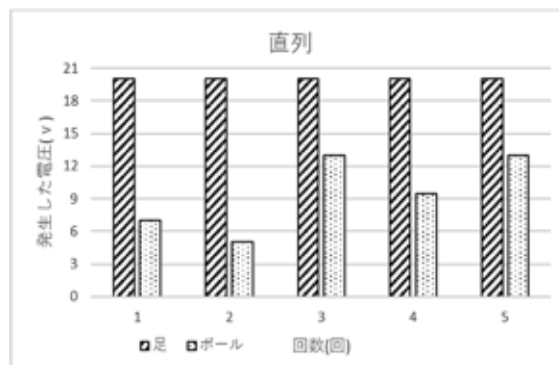


図5 直列

表1 並列

回数	足 (V)	球 (V)
1	11.0	5.0
2	11.5	3.5
3	9.0	4.0
4	10.0	5.0
5	8.5	5.5
平均	10.0	4.6

表2 直列

回数	足 (V)	球 (V)
1	20	7.0
2	20	5.0
3	20	13.0
4	20	9.5
5	20	13.0
平均	20	9.5

前述の操作（実験手順）を行った結果が図4と図5である。また、各操作の結果と平均値を示したものが表1（並列）と表2（直列）である。足で踏んだ時は、並列つなぎでも直列つなぎでもボールを落とした時よりも大きな値が出た。足で踏んだ時の平均値は、並列で10V、直列で20Vとなり、ボールを落とした時の平均値は、並列で4.6V、直列で9.5Vとなった。

4 今後の課題

直列つなぎにした時が、並列つなぎにした時よりも発生する電圧が大きいことは予想通りだった。しかし、図7からわかるように足で踏んだ時の値が20Vで一定となっている。これはオシロスコープの測定できる限界値を示したのだと考えられる。今後はこれの正確な値を測定したい。そしてもっと大きな圧力を加えて実験してみたい。また、並列つなぎの時は、発生する電圧は小さいが電流は大きいと思われるため、それぞれのつなぎ方で電流を測定し、電力を調べて比較したい。そうすると並列つなぎの利点も見えてくると考えられる。最終的には多くの人々が利用する場所を用いて実験したい。

【文献】

- ・高橋優大岡山県立倉敷天城高等学校圧電素子と電磁誘導で得られる電気エネルギーの比較研究 (https://www.jstage.jst.go.jp/article/ieejpes/133/3/133_NL3_3/_article/-char/ja/), 2019年12月18日アクセス
- ・岡山県立倉敷天城高等学校 AFP2018年2組1班論文：AMAKI 式床発電 (http://www.amaki.okayama-c.ed.jp/wordpress/?page_id=6832), 2019年12月18日アクセス

バナナの経過日数による pH と糖度の変化

中島 亮 尾上 暁子 平松 莉奈

要旨

私たちが日頃食べている果物について調べたとき、バナナの皮の表面に「シュガースポット」が出ると甘くなると、Web ページに記載されていた。そこでバナナの保存日数と糖度と pH との関係を調べた。その結果、常温では3日後のものが、冷凍した場合は5日後のものが最も糖度が高く pH が7に近くなることが分かった。

キーワード：バナナ，糖度，pH

1 序論

私たちはスーパーなどに買い物に行くとき、美味しいものを選びたいとする。しかし私たちは専門家ではないので、どれが美味しいものか分からないし、いつが食べごろかも分からない。そこでバナナを使って糖度計や pH 計を使ってバナナがおいしくなる最適な日数を明らかにしようと考えた。

2 実験手順

※本研究では、収穫した日を計測するのは困難なため、購入日を0日目とする。

- ① バナナを袋に入れて常温と冷凍庫で保存した。
- ② バナナの皮をむき、身を10g取り除き乳鉢ですり潰し、精製水20mLを加えた。
- ③ ②の懸濁液をろ過した。
- ④ ③の水溶液の糖度とpHを3回ずつ測定した。
- ⑤ 上記の実験(①～④)を1, 3, 5, 7日後で行った。



図1 シュガースポットが出たバナナ

3 実験結果

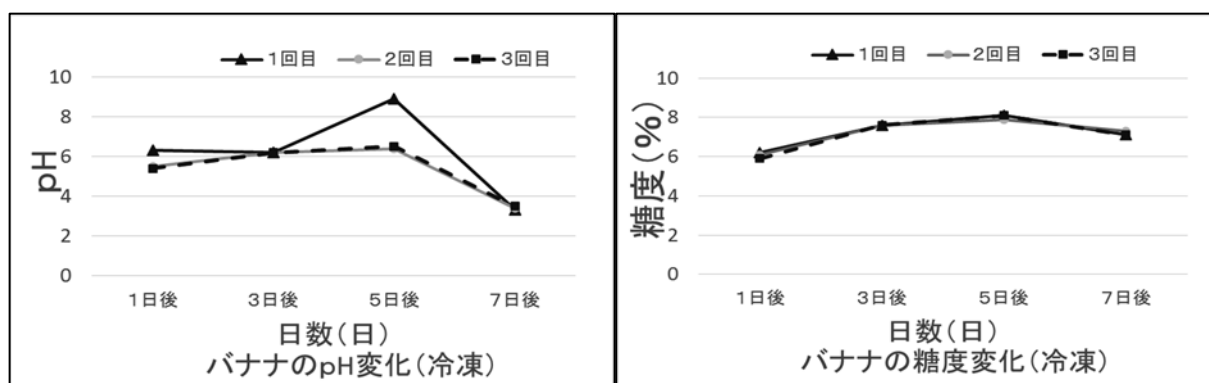


図2 冷凍時のバナナのpHと糖度変化

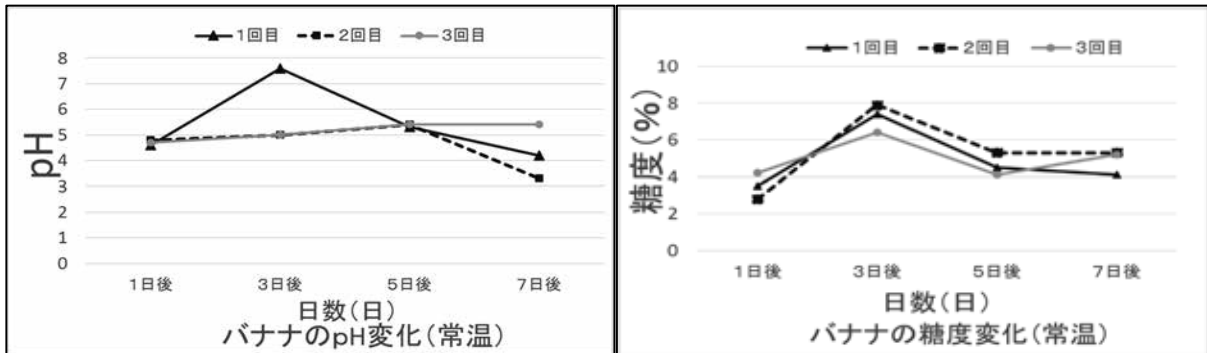


図3 常温時のバナナのpHと糖度変化

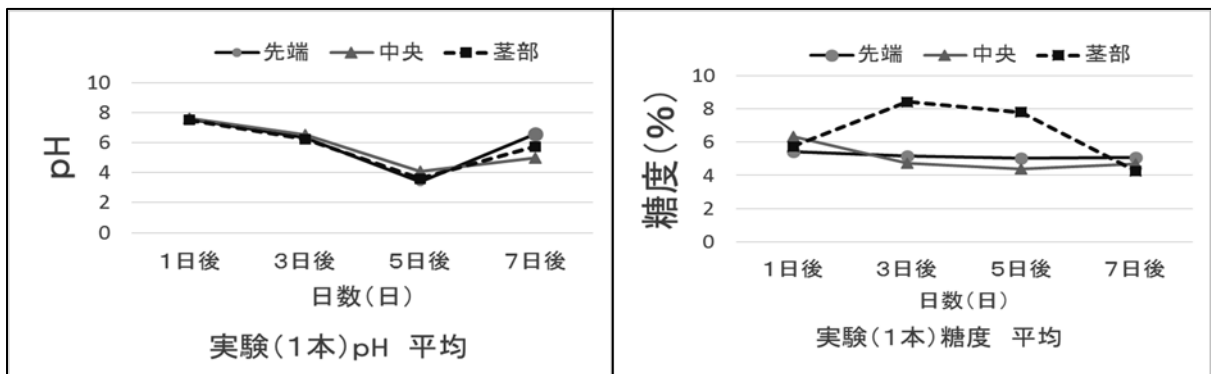


図4 常温時のバナナを部位ごとに分けたpHと糖度変化

※ 図4の1本とは、部位ごとに分けて実験を行い平均をとったものである。

4 結論

上記の結果から、冷凍した場合は、常温の時よりも変化は小さく遅い。そのため5日後のpHが7に近く、糖度も高い最適な日数となった。常温の場合、購入日からよく熟し中性が7に近い日数は3日後である。またその日数を超えるとバナナは劣化し、糖度は下がりpHは酸性に近づく傾向が見られた。先端、中央、茎部に分けた場合pHは5日後まで下がるが、その日を超えると再び中性から塩基性に近づく。糖度は常温の時とほぼ同じような結果であることが分かった。以下のことから私たちが使ったバナナについては、3日後に食べたいときは常温保存が、5日後に食べたいと思うときは冷凍保存をしておくとういことが分かった。

5 今後の課題

本研究では、シュガースポットが出れば甘くなると記載されていたが図1のようなシュガースポットが出た表面よりたくさん増えると徐々に表面は黒くなり、pHは塩基性に近づき糖度は下がるのでシュガースポットが及ぼす影響を調べていきたい。

【文献】

・甘熟王 (https://www.sumifru.co.jp/line_up/kanjukuoh/), 2019年11月13日アクセス